

⑤ フットボールクラブ本郷 (FC本郷) と栄区サッカー協会

■吉川 勝

1 フットボールクラブ本郷の歩み

① 草創期

私は昭和四十一年五月末に、サッカーの町浦和市から現在の住居、栄区に大いなる夢を抱いて転居して来た。いつの日にか、

一、サッカー不毛のこの本郷の地域に必ずサッカーを根付かせること。(少年から社会人までのクラブチームをつくること)

二、将来はこの本郷地区をサッカーのメッカにすること。(第一の浦和とすること)

三、全国レベルの選手を育成すること。等の理想を実現するため、多くの年月と苦労は覚悟の上であった。しかし、いざこの地に住んでみると、何から初めていいのか皆目見当がつかなかった。当時この地区に小学校は本郷小学校一校しかなかった。(平成十二年現在栄区として十六校、本郷地区としては十校前後ある)山また山のこの地域は少年人口が少ない上に野球が盛んで全くサッカーの「サ」の字もない。少年野球(トップボール使用)のロブスターがテレビに出たりして隆盛を極めていた。このことが逆境の私の心の火に油を注ぐ結果になったのもまた事実である。

日曜日ともなれば暇さえあれば本郷小学校や警察学校に出かけ片隅で遊んでいる四、五

人の子供達を集め一緒にボールを蹴った。(こうして下地をつくった)。昭和四十三年と記憶するが各町内会にお願いして本郷小学校でサッカーに興味のある人達が集まった。ここで初めてサッカーをしたのである。

したがってこの時がFC本郷の活動の起源と言つてよい。(以上FC本郷二十周年記念誌から一部抜粋)

② 指導法

当クラブの指導法は昔も今もたいして変わっていない。

低学年(小学一、二年生)の指導は、子供達が次の練習日が待ち遠しい、そういう思いをさせる指導、これが最良の指導と申し事案。そういう指導をしてもらっている。

中学年(三、四年生)では、自我が目覚め上手になりたい子供には基礎を中心にそれなりに上を目指した指導を行う。

高学年(五、六年生)は基本的には中学年の指導と同じである。ただ一つ一つの基本プレイをより早くより正確にできるように指導している。基本とは例えば正確なインサイドキック、インステップキック、最も大事なトラッピング他沢山ある。それに古くから言われている三原則、①回りをよく観る(判断材

料)。②ボールに寄る。(相手にすきを与えない)③パスアンドゴー(パスしたら自分で再びボールをもらう、あるいは味方のスペースをつくる)

ともあれ卒業迄には全員基本技術の習得をさせる。

③ 活動

昭和四十三年から活動を始め昭和四十七年から小学生、中学生チームとも公式大会に参加、社会人チームは同四十九年神奈川県三リーグに加盟し、2部リーグそして一部リーグも経験したが、現在は三部リーグで活動している。

少年のクラブは今年二月に三十周年記念行事を実施した。社会人チームも今年二十六年目を迎えた。この間少年チームは春の横浜スポ少大会で四連覇他、市大会では数多く優勝している。平成八年には神奈川県代表として全国大会に出場し、ベスト八に入った。

一方選手では、前ヴェルディ川崎、現ヴィッセル神戸キャプテン長谷部茂利、元柏レイソル、現横浜FC有馬賢二等が当クラブのOBとして活躍中である。また更に、指導者としては、金沢中学校教諭の横尾昭彦、つい最近高等学校横浜選抜チームとして上海遠征し

1 フットボール本郷の歩み
2 栄区サッカー協会
3 まとめ

第20回全日本少年サッカー選手権大会に神奈川県代表として出場

平成8年夏神奈川県375チームの代表として、各県代表強豪ぞろいの読売ランドでの全国大会に出場しベスト8の成績を収めた。(全国各県8388チームが参加)

優秀選手に加藤邦幸(現日大藤沢高)が選ばれた。

なお、5年生でレギュラーとして活躍した鈴木健太は現在日産FMリノジニアユースで活躍している。去る8月20日の日本クラブユース選手権では京都パープルサンガを決勝で破り優勝している。(優秀選手にも選ばれた。)

他のメンバーも、進学先は別れても、それぞれ引き続きサッカーに真剣に取り組んでいる。

各人の成長と生涯サッカーに携わってくれることを心から願っている。

◆FC本郷の概要

①クラブ員 約100名 ②指導者 18名 ③活動日 毎週土日および休日

④練習場所 桜井小学校他 ⑤クラブの所在地 横浜市栄区

⑥代表 吉川 勝

◆FC本郷の沿革

①元旦の初練習

クラブ関係者及びOB関係者200名を超える総出での毎年元旦の初練習。ヴェルディ神戸の長谷部選手や横浜FC有馬選手も時々参加してくれ、現役クラブ員の大きな励みとなっている。

②富士見高原スポーツセンターでの合宿

合宿は毎年130名前後が参加し、今年25回目を実施したが、長野県富士見高原だけで今回(8/4-8/7、3泊4日)21回目を数えた。

当クラブの合宿の大きな特徴は、早朝5時から朝食前の練習に加え、他チームとの交流試合は一切やらない。通常の練習場所が狭いため、ふだん出来ないことに重点を置いたため。また、最後の夜のキャンプファイヤーの学年別、そしてコーチ・父母別出し物は毎年絶品である。

③毎年参加の招待大会

浦和岸町サッカーフェスティバル招待(今回20回大会)他 10数大会に参加
厚木GP・南足柄向田SC・西鶴岡・湘南辻堂・OSジュニア・佐野ベアーズ
駒林・あざみ野・相模原上南・大井少年 他

中学生チームは昭和47年から55年まで活動したが、本郷中学校、桂台中学校にサッカー部ができた時点で編入させ、56年以降活動をやめた。

平成12年度栄区サッカー協会役員

役員理事	氏名	所属
会長	吉川 勝	FC本郷
副会長	里見高行	カウカニアル
副会長	木下雄三	桂台中学校
理事長	梅川玉機	公田SC
会計	篩岡隆雄	マインズFC
会計監査	鈴木政美	西本郷FC
会計監査	岩崎貴司	LAD94

た監督の齋藤敦（水取沢高校教諭）、元戸塚中学校教諭、現横浜FCマネージャー・田部和良等が活躍している。

2 栄区サッカー協会

当協会の組織は加盟クラブから代表を含む二名（中学生部門は一名）の理事を出し、会長以下役員は互選による。したがって、真のサッカー関係者で運営できる。昭和五十七年四月に本郷サッカー協会として発足。同六十七年十一月戸塚区からの分区に伴い栄区サッカー協会と改称し現在に至る。春秋のリーグを始め、年に一度の協会挙げてのサッカーフェスタ、選抜チームの活動等、年々充実し発展的に活発な活動をしている。

今年協会としては記念すべき年である。つい最近、当協会は二〇〇二年FIFAワールドカップ日韓共催で実施されるのに伴い、一般区民へのムードの盛り上げと、友好親善交流を目的として、小・中学生（選抜）チームによる韓国金浦市への遠征を行った。サッカー試合による交流を始め連夜にわたる歓迎会、懇親会等での和気あいあいとした雰囲気の中で、二〇〇二年に向けての日韓協力の必要性等、意見交換が多々なされ、初期の目的は十分果たせたと思っている。

栄区サッカー協会と金浦市サッカー協会は八月十八日、現地で調印式を行い姉妹協会提携を結んだ。サッカーの交流のみならず文化面でも交流し、お互いに末長く友好を育んでいこうとするものである。来年五月には金浦市が栄区を訪問することになっている。

3 まとめ

私は日本でのプロサッカー、Jリーグがこんなに早く設立されるとは思っていなかった。一九九三年のJリーグの発足時には、長い間サッカーに携わる者の一人として大感激したものだ。二〇〇二年ワールドカップが日韓共催として誘致できたのはこれまでのJリーグの実績のお陰だと思っている。念願の二〇〇二年大会の特に横浜国際総合競技場で行われる横浜大会は是が非でも大成功させなければならぬ。それには、一般市民、区民を同一線上にしかも同方向に向いてもらうための行事をいろいろやって理解してもらおう必要がある。

栄区協会の金浦市との友好親善交流もその一つである。今後とも当栄区サッカー協会は区役所および体育協会と手を取り合い、一般市民や区民の皆様にとらにご理解頂けるような行事をやっていくことになっている。関係者のご支援ご協力をお願い致したい。サッカーのお陰で世に出られ今日あることを思えば、サッカー界に幾分なりとも恩返しするのが当然の義務という思いで、FC本郷を育て、栄区サッカー協会に携わり、横浜サッカー協会にも微力ながら名を連ねている。

今後ともサッカーに対する情熱だけは持ち続けたいと思っている。おわりに浦和市立高校時代の今はなき恩師、鈴木駿一郎先生に出会うことが無かったならば恐らく本文を書く機会は無かったであろう。先生の一言ひとことが年を経るほどに意味をもってくる。

△栄区サッカー協会会長、FC本郷代表▽

平成12年度栄区サッカー協会加盟クラブ

(小学生の部)		(中学生の部)		(社会人の部)	
クラブ名	代表者	クラブ・学校名	代表者	クラブ名	代表者
1 FC本郷	吉川 勝	1 飯島中学校	吉田直史	1 タツノSC	榎村孝史
2 公田SC	梅川玉機	2 上郷中学校	本橋芳晴	2 FC本郷	吉川 勝
3 小山台SC	西浜良信	3 桂台中学校	木下勇三	3 アトレテコ・カウカニアル	里見高行
4 小菅ヶ谷SC	大野光正	4 小山台中学校	藤 至光	4 公田SC	山岸猛彦
5 FCサンダース	菅谷広之	5 庄戸中学校	塚原和良	5 横浜GEES	笠井秀二
6 FCイーグルス	城 晴彦	6 本郷中学校	大場 僚	6 LAD'94	岩崎貴司
7 西本郷FC	鈴木正美	7 西本郷中学校	星野克巳	7 JRさかえ	中村宏之
8 マインズFC	師岡隆雄	8 山手学院中学校	椎名重登	8 AC・VELOCE	磯村直久
9 Y.S.コラッジオ	有江正幸	9 横浜栄FC	尾浦孝夫	9 FC金井	木下 宏
				10 横浜栄FCシニア	尾浦孝夫
				11 A.F.C.好躍會	斉藤猛夫
				12 東芝横浜事業所サッカー部	森川謙吾



8/17(木)~20日(日)金浦市へ遠征 金浦市長主催歓迎会

